



サステナビリティに関する考え方および 取り組み（最高ガバナンス機関の役割）

日油グループのサステナビリティに関する考え方
および取り組みは、次のとおりです。

サステナビリティ全般に関する ガバナンスおよびリスク管理

日油グループでは、取締役兼執行役員と役付執行
役員で構成する政策会議、ならびに社長を委員長と
するCSR委員会における協議を経て、サステナビリ
ティに関するマテリアリティ（重要課題）を特定し、取
締役会で承認しています。それぞれのマテリアリティ
は、KPIと目標値を設定して主管組織・担当部門が
活動を推進し、進捗状況・結果をCSR委員会へ報告
しています。CSR委員会では、すべての取締役が参
加してマテリアリティのレビューを行い、重要課題の
項目、KPI、目標値、対応方針を見直すことで、活動
レベルの継続的な向上を図っています。

リスクについては、リスク管理委員会が網羅的なア
セスメントを実施し、各種専門委員会がリスク対策・
対応施策を主管してモニタリング・進捗管理していま
す。また、機会については、経営幹部会議、重点事業
検討会などで議論し、重要事項については、経営審

議会で審議しています。これらの委員会・会議の結
果は、年2回以上、取締役会に報告され、監督を受け
る仕組みを構築しています。

CSRの推進

社長を委員長とする統括組織であるCSR委員会、
および各専門委員会の活動頻度を高め、リスク管理
体制を強化していきます。

CSRの推進体制

